

調 査 ・ 研 修 報 告 書 (会派個人用)

会派名： きずな

報告者： 林 高正

㊦

実施場所：内閣府地方創生推進事務局	実施日：平成 29 年 7 月 24 日
<p>■目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など）</p> <p>「日本版 BID を含むエリアマネジメント」に関して、視察研修に伺ったのですが、事務局の職員も研究中とのこと、時期尚早の感ありでした。</p> <p>今回、どうして日本版 BID を勉強しようとしたかですが、会派で、金沢市や富山市のまちづくりを視察研修し、行政主導のまちづくりから官民一体となったまちづくりへとシフトしている現実を目の当たりにしたことが発端でした。</p>	
<p>■参考とすべき事項</p> <p>BID とは、日本語に訳すと、「ビジネス改善地区」となります。そもそも、1960 年～1970 年代にカナダで生まれ、80 年代からアメリカでも導入され始め、その後、世界各地の都市で普及した制度です。「最新版の論文による BID の定義によると、①地理的に区画され多くの場合、インナーシティに位置する地区で、不動産所有者や事業者から②徴収される負担金により、その地区の③維持管理、開発、プロモーションを行うもの。BID が提供するサービスは、④通り、歩道、公園やオープンスペースの維持管理、治安の改善、マーケティング、施設改善、その他の開発である。これらのサービスは、⑤行政が提供しているサービスに対する付加的なものである。」</p> <p>代表的な事例として、米国ニューヨークのブライアントパークは、かつては治安が悪く、犯罪の温床となっていた公園だったが、1980 年に周辺の不動産業者が BID を立ち上げ、質の高い公共空間の創出・管理と、魅力的なイベントを、年間を通じて開催。これにより、まちの賑わい拠点の形成、周辺の不動産価値の向上を実現した。</p>	
<p>■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など）</p> <p>今回、内閣府での取り組みを勉強しに行ったつもりだったが、冒頭に書いたように、金沢市や富山市のまちづくりが日本における BID の優良事例と考えられる。小手先だけのまちづくりではなく、ちゃんとしたマスタープランを立てる必要がある。北海道の伊達市も、市内の企業・金融機関・各種組織・行政がタッグを組んで成功した事例である。</p> <p>庁内の職員有志と議会議員による、「まちづくり懇談会」的なものを立ち上げてみることも面白いと思います。職員の意見が吸い上げられることで、やる気も出てくると私は考えます。</p>	

※ 調査・研修終了後、一週間以内に会派事務局へ提出してください。

調 査 ・ 研 修 報 告 書 (会派個人用)

会派名： きずな

報告者： 林 高正

㊦

実施場所：東京都八王子市 ボランティア団体 きよびー	実施日：平成 29 年 7 月 25 日
<p>■目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など）</p> <p>高齢者が高齢者を支える団体があると聞いたので、ネット等で調べてみたが実態が良く分からなかったため、八王子市役所に問い合わせしてみたが、これも要領を得ず、実際に現地に出向くこととした。</p>	
<p>■参考とすべき事項</p> <p>参考とすべきことがあり過ぎて、どう纏めれば良いのか苦慮している。</p> <p>スタートは配食サービスからだったのだが、高齢者の生きがい（働くこと）づくりを支援することと、次世代を担う子供たちを支援し、世代間交流が自然とできるまちづくりを目指されて活動されています。そして 2006 年 3 月の活動開始から 10 年経ったことで、2015 年 7 月より新組織へと移行されました。（詳しい内容は、別紙資料をご覧ください）</p> <p>団体としての特徴（林の私見です）</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 最大の特徴は、会員約 130 名が全員、無報酬のボランティアで活動していること。 ② 活動に必要な資金は自分たちで稼ぎ出しており、原則、補助金には頼らない。 （事業収益は、最低限にとどめる。儲けのための事業は行わない） ③ 良いと思ったこと（事業）は、直ぐにやってみる。そして、やりながら考える。 ④ 地元の自治会の役員は 1 年交代なので、自治会間を調整する機能も担っている。 ⑤ 地元住民を支える各種交流の場の提供（多くのイベントを企画実践されている） 	
<p>■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など）</p> <p>書きながら、「読まれる人には理解でき難い」だろうなと思っていますが、「こんなことがあったら（をしたら）面白い」という事業を実現しているのが、「きよびー」なんです。夏休み、子供を川遊びに連れて行って欲しいとか、高齢者が何でも相談できる所が欲しいとか、たまには仲間と集まって一杯飲みたいとか、フラダンスもやってみみたいとか、映画やカラオケもやってみみたい等々、「できない」という言葉は「きよびー」には無いのかも知れないと思えるほど、何でもやってしまうのです。</p> <p>本市がやっているサロン事業は提供する側と受ける側という構図がありますが、みんなワイワイガヤガヤが「きよびー」流です。ですから、八王子市役所の担当課の職員も、「間違いなく、10 年先を行っている」と言われていましたが、地域包括ケアシステムのひとつの姿がここにはあります。決められた仕組みではなく、自分たちで試行錯誤を繰り返しながら作り出していったまちづくりそのものがありました。つまり、介護保険に頼らない、高齢者が高齢者を支える仕組みを編み出している様に感じます。私もどう真似れば良いのか今は分かりませんが、楽しいことをドンドン企画して実践することが重要ということは理解できますので、まずは、私が動くことから始めたいと思います。</p>	

※ 調査・研修終了後、一週間以内に会派事務局へ提出してください。

平成 29 年 8 月 2 日

調 査・研 修 報 告 書 (会派個人用)

会派名： きずな

報告者： 林 高正 ㊟

実施場所：東京都多摩市 多摩市議会	実施日：平成 29 年 7 月 26 日
■目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など） 多摩市議会常任委員会ネット中継の視察研修。 庄原市議会では本会議は議会中継と録画により視聴できるようになっているが、常任委員会、議員全員協議会、議会運営委員会等の中継はなされていない。議会改革の一環からも、早期に委員会中継の導入を検討すべきと考える。	
■参考とすべき事項 想像していた通り、市販のビデオカメラを壁に取り付けて中継されていた。具体的には、ビデオカメラから有線にてパソコンに画像と音声を取り込み、チューブにて配信することで、ライブ映像が視聴できる。当然ながら、録画も視聴できるが、ライブよりも録画のヒット数が圧倒的であった。 操作も簡単であり、予算決算の3分科会中継も可能である。	
■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など） 基本的に購入するのは、ビデオカメラと付属部品程度です。業者委託しても1セット20万円もあれば十分に設置できると思います。直ぐに予算要求して、遅くとも新年度の議会からは委員会中継を開始しましょう。できれば、議会運営委員会で実証実験して、ノウハウを蓄積するのも良いのではないのでしょうか。	

※ 調査・研修終了後、一週間以内に会派事務局へ提出してください。

平成29年7月31日

調査・研修報告書（会派個人用）

報告者：徳永泰臣 ㊦

実施場所：東京都永田町衆議院第一会館 内閣府地方創生推進事務局	実施日：平成29年7月24日
■目的・課題・問題事項 ○ 日本版B I Dを含むエリアマネジメントの研究 B I Dとは①地理的に区画され ②徴収される負担金により ③維持管理、開発、プロモーション ④通り、歩道、公園やオープンスペースの維持管理 ⑤行政が提供しているサービスに対する付加的なもの。 今後の人口減少社会においては、行政が主導する画一的なまちづくりには限界があり、官民連携を強化し、その地域特性を生かし「育てる」まちづくりを進めていく必要がある。	
■参考とすべき事項 ○これからのまちづくりは「つくること」から「育てること」へシフトしていく必要があると言われている。そのような中、全国各地で幅広い多様な主体が一体となって、地域の価値を高める様々な活動を行っている。そうしたまちづくり活動は「エリアマネジメント」と呼ばれ、注目されている。 ○エリアマネジメントは、幅広い多様な主体による取り組みであるが、以下の4つの特徴がある。 ①「つくること」だけではなく「育てること」 ②住民、事業主、地権者等が主体的に進めること ③多くの住民、事業主、地権者等が関わり合いながら進めること ④一定のエリアを対象としていること	
■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など） ○本市においても、エリアマネジメント活動の関係者の合意形成を促進し、公共性、公益性が高いエリアマネジメント活動に対する行政の認定や、費用負担、徴収等に関する合意の継続性を確保するための仕組みの整備が急務であると思う。	

※ 調査・研修終了後、一週間以内に会派事務局へ提出してください。

平成29年7月31日

調査・研修報告書（会派個人用）

報告者：徳永泰臣 ㊦

実施場所：東京都八王子市 一般介護予防サロン活動支援事業	実施日：平成29年7月25日
■目的・課題・問題事項 ○今回お伺いした、八王子市のきよぴー&トマトは、高齢者自らが、配食サービスを軸に、高齢者の生きがいづくりや見守りなどを実践され、地域社会における健康でいきいきとした生活の実現をされている。	
■参考とすべき事項 ○八王子市は一般介護予防サロン活動支援事業、ふれあい・いきいきサロン活動支援事業、そして高齢者ボランティア・ポイント制度など、独自の制度により地域内の高齢者が高齢者を支援するシステムを確立されている。 ○きよぴー&トマトの代表の方は、自分達ができることからまず始めることが大切ではないか。あまり考えすぎてしまうと、何もできない、失敗したらやめればいい。行政にはあまり頼らない、自分たちで出来ることをやる。そうした考えでやっておられる。	
■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など） ○本市としても、八王子と同じ様な事業や施策はあるが、行政で出来ることは限られている。あとは、いかにして民間レベルでの取り組みをすすめていくか、高齢者が高齢者を支える仕組みづくりが急務であると思う。	

※ 調査・研修終了後、一週間以内に会派事務局へ提出してください。

平成29年7月31日

調査・研修報告書（会派個人用）

報告者：徳永泰臣 ㊦

実施場所：東京都多摩市 多摩市議会	実施日：平成29年7月26日
■目的・課題・問題事項 ○ 多摩市議会常任委員会ネット中継についての視察研修 多摩市議会では、平成18年から本会議の中継放送は行われていたが、委員会等のインターネット中継については、出前委員会や議会報告会などにおいて市民から要望があった中で、多額の経費を要することから、実施が見送られ、課題となっていた。 平成24年度に他の議会の事例をもとに、無料動画配信サービス（ユーストリーム）を利用し安価での導入が可能であるということで、導入に至った。	
■参考とすべき事項 ○インターネットを利用して議会の会議を実況中継することにより、公平性及び透明性を確保し、市民に開かれた議会運営に努め、市民にもっと良く見え、わかりやすく、市民が参画できる議会運営の推進が図られる。 ○留意事項として、映像及び音声は公式の記録でないこと。映像及び音声の無断使用、複製、転載、改変等を禁止すること。ウェブサイト上の企業広告は本市議会と関係がないこと。正常に視聴できない場合、あるいは視聴により何らかの損害が生じた場合に本市議会は責任を負わない旨を、あらかじめ表示する必要がある。	
■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など） ○ ノートパソコン、ビデオカメラ等は家庭用で対応ができ、とても安価（10万程度）での導入が可能である。庄原市議会としても議会基本条例制定、そして開かれた議会を打ち出していることもあるため、早急に導入の検討を行う必要がある。	

※ 調査・研修終了後、一週間以内に会派事務局へ提出してください。

2017年 7月 31日

調査・研修報告書（会派個人用）

会派名： きずな

報告者： 五島 誠 ㊟

実施場所：内閣府	実施日：2017年7月24日
■目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など） 日本版 BID を含むエリアマネジメントの推進方策について	
■参考とすべき事項 ・エリアマネジメントという、まちをつくることから育てることへシフトしたまちづくりの視点について、内閣府、地方創生推進事務局でも取り組みを進めていきたいと考えておられた。しかしながら全国の事例などにはまだ中山間地域のような本当に人口が著しく減少している地域の具体的なものは少なく、これからいかに事業化、制度化していくのかについてはまだまだであった。その中で、日本版 BID を含むエリアマネジメントの推進方策検討会の中間とりまとめにもあったが、BID については海外の取り組みを参考にしながら、宿泊税や着地型観光などの地域が行う観光財源の充実に向けた取り組みについて検討したいとおっしゃられた。空き家の活用や管理にもこの手法が使えないか検討もお願いしたところである。	
■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など） ・庄原市においても日本版 BID を含むエリアマネジメントについて調査検討を行い、新たな方策で地域が生き生きと協和する施策に取り組む事 ・その事に当たっては、内閣府地方創生推進事務局と連携していく事 ・中央の情報を素早くキャッチ、活用する事が出来るよう、庄原市東京事務所の設置、あるいは内閣府等への職員出向などの手法を用いていく事	

※ 調査・研修終了後、一週間以内に会派事務局へ提出してください。

2017年 7月 31日

調査・研修報告書（会派個人用）

会派名： きずな

報告者： 五島 誠 ㊟

実施場所：八王子市 きよぴー	実施日：2017年7月25日
■目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など） 八王子市一般介護予防サロン活動支援事業の視察研修 ・きよぴー&とまと及び友&愛サロンの取り組みについて	
■参考とすべき事項 ・きよぴーでは、地域包括ケアうんぬんが叫ばれる以前から、半径500mの範囲で活動エリアを定め、配食サービスや生活支援サービスなどを行っておられた。空き家店舗を借用してその拠点づくりをされ、そこで生きがいつくりなども行われ、本当にいつも人が行き交う拠点づくりをされた事も特筆に値する。 ・八王子市も、きよぴーの活動を取り入れるかたちでケアプランを作成している。 ・地域と活動組織がリンクしてコミュニティビジネスを展開し、域内のサービスと財が循環していく仕組みを作ることによって活動の継続が図られる。	
■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など） ・高齢者の尊厳保持と自立生活支援の目的で、いろいろと試行錯誤しながら取り組みを進めていっている最中であると思うが、その中で八王子市ならびにきよぴーの取り組みは参考になる部分が多いと考えられるので、是非視察調査を市長部局におすすめる。 ・エリアを絞って活動する事、地縁団体ではない組織で活動を展開すること	

※ 調査・研修終了後、一週間以内に会派事務局へ提出してください。

調査・研修報告書(会派個人用)

会派名： きずな

報告者： 五島 誠



実施場所：多摩市議会	実施日：2017年7月26日
■目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など） 多摩市議会常任委員会ネット中継および議会改革の取り組みについて	
■参考とすべき事項 ・安価で委員会中継を実現	
■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など） ・すぐにでも庄原市議会でもとり進める。やり方はいくらでもあるので大きく予算を使っ て行うのではなく、安価でまずやってみる。 ・視聴者数が大事ではなく、いつでも議論を見る事ができるという環境づくりが大切。	

※ 調査・研修終了後、一週間以内に会派事務局へ提出してください。

平成29年7月31日

調査・研修報告書(会派個人用)

会派名: さがほ

報告者: 桂藤和夫

実施場所: 衆議院第一議員会館 1階
第5会議室

実施日: 平成29年7月24日(月)

■目的・課題・問題事項(調査・研修に先立っての思いや本市の現状など)

本市を取り巻く状況は過疎化と人口減少社会の到来により課題が山積している。そこで、「地方創生まちづくり(エリアマネジメント)」について、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局内閣府地方創生推進事務局参事官補佐田村圭氏、主査堀越崇志氏から資料を配布していただき、説明を受け、質疑応答形式で勉強をいたしました。

■参考とすべき事項

「エリアマネジメント」は地域における良好な環境や地域の価値を維持向上させるための住民・事業主・地権者等による主体的な取り組みと定義されている。このポイントは①「つくること」だけでなく「育つこと」②住民・事業主・地権者等が主体的に進めること③多くの住民・事業主・地権者等が関わり合いながら進めること④一定のエリアを対象としていることであり、メリットとして①快適な地域環境の形成とその持続性・生産性の確保②地域活力の回復・増進③資産価値の維持・増大④住民の地域への愛着や満足度の高まりがあると聞きました。「BID(ビジネス改善地区)」についても説明を受けました。これらは我々若者についてばかりで、今後の展開にしっかりと注視していくことが肝要であると感じました。

■提言・その他(本市の施策等にどのように活用すべきかなど)

本市の現状等を踏まえた時、おぐに取り入れることは難しいと感じたが、人口減少社会において、新しい開発が抑制され、遊休資産が増加する中、つくったもの・あるものをいかに活用するかという視点に立ち活かしていく必要があるのではないかと思う。

より早く、確実な情報収集をするために、庄原市役所東京事務所を設けたらどうでしょうか？

※ 調査・研修終了後、一週間以内に会派事務局へ提出してください。

平成29年7月31日

調査・研修報告書(会派個人用)

会派名: きがな

報告者: 桂藤和夫

実施場所: ボランティア団体 さよほ (東京都八王子市清川町)

実施日: 平成29年7月25日(火)

■目的・課題・問題事項(調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など)

東京都八王子市清川町で高齢者のボランティア(約10年前から)既食サービス提供、惣菜販売の「さよほ&ひと」とサロン活動、お助け隊・ホームサービス(生活支援)や企業とのコラボで「YOU&I(友&愛)」の活動をされ、さらに高齢者あんしん相談センター中野と連携し、清川あんしんネットを運営されているという事で、本市に活用できるのではないか、会派の意見がまとまり、現地視察に伺った。議会の訪問は我々が初めてのことでした。

■参考とすべき事項

副代表 梅沢香代子、事務局長 片貝剛、事務局 大越恵子の3名から話を伺う。スタート当初はいろいろ課題があり、大変だったと言われたが、ボランティア精神で「10年前と向いていこう」と頑張ってきて、現地に赴き、そこで活動される人や立ち寄られる皆さんの表情が、とても明るく「来ると楽しい」場所になっていて、①既食サービス、惣菜販売を続けながらの世代間交流 ②高齢者の生きがいづくり ③次世代を担う子供たちの支援を商店街の空き店舗を借用し頑張っていることに感銘を受けた。

ボランティア会員数130名で、提供するサービスも個人の能力や趣味に依り、多岐にわたっており、地域ケアシステムにも対応するほど大いに参考になった。

〈八王子市福祉部高齢者いきいき課 課長補佐 吉本知宏、主任 相川勝吾氏も同席〉

■提言・その他(本市の施策等にどのように活用すべきか など)

活動エリアは清川町 約500軒、檜原太陽町 約70軒で、コンパクト2町での、なだり面積を有する本市で直ちに活動することは難しいかもしれない。自治振興区、商工会議所や商工会等で市街地や町の中心部やその周辺で取り組むとすれば、地域の活性化や生きがい・健康づくり、世代間交流等が実現するのではないかと思えます。

※ 調査・研修終了後、一週間以内に会派事務局へ提出してください。

平成29年7月31日

調査・研修報告書(会派個人用)

会派名: さがほ

報告者: 桂藤和夫

実施場所: 夕摩市役所 市議会第1委員会室

実施日: 平成29年7月26日(水)

■目的・課題・問題事項(調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など)

「議会改革(もっと見え、わかりやすく、市民が参画できる議会)」
現状、本市議会では本会議(市)が議会映像配信されているが、夕摩市議会では全ての会議や委員会を映像配信しており、現地に赴き現状と課題等について夕摩市議会議長若永ひさ村氏、議会運営委員長遠藤ちひろ氏や議会事務局から資料を頂き説明、質疑応答と現状視察をした。

■参考とすべき事項

本会議場、委員会室の設置状況を確認した。一般的な市議会よりパソコン、付属機器が使用されており、経費的にも思っているほど高額にはなっていないとわかった。

夕摩市議会の本会議場、委員会室共に床からフラットでカメラの設置位置やアングル(傍聴人が映らないように配慮)等に留意してほしい。

■提言・その他(本市の施策等にどのように活用すべきか など)

市当局、議会、市民の賛同や合意が大前提ではあるが、議員の資質向上、議会改革等の効果も期待されると思うので、早急に導くべきだと考えます。

※ 調査・研修終了後、一週間以内に会派事務局へ提出してください。